

公表 事業所における自己評価結果

Table with columns: 事業所名 (児童発達支援放課後等デイサービス マカロン), 公表日 (8年 3月 10日), チェック項目, はい, いいえ, 工夫している点, 課題や改善すべき点. The table is divided into three main sections: 環境・体制整備 (rows 1-5), 業務改善 (rows 6-10), and 適切な支援の提供 (rows 11-25).

関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービ担当会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	開所してから5ヶ月の間にはまだ担当者会議等には参加できていません。	今後、職員への聞き取りと支援経過記録を確認したうえで、児発管、管理者等が担当者会議に参加してまいります。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	小学校、保育所、発達支援センター、相談支援事業所と連携し、必要に応じ連絡をとりながら情報共有をしています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	契約後利用開始前のご挨拶や打ち合わせ、送迎時に情報共有を行っております。お子さまの下校時刻の確認、連絡、調整も都度担任の先生や教頭先生、保護者様と連絡を取るようになっています。	今後も事前情報の提供と定期的な連携・相談できるように努めてまいります。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解を努めているか。	6	現在、開所から5ヶ月間の中で就学までのご利用がまだありません。	必要に応じてケース会議等を行い、情報の共有に努めてまいります。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供するなどしているか。	6	まだ学校を卒業したお子さんはいません。	今後、障害福祉サービス事業所等と地域支援会議等で情報共有を図っていきたく思います。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	発達支援センター、相談支援事業所と連携し、必要に応じて連絡をとりながら情報共有と助言をうけています。	引き続き、関係機関、専門機関と連携しながら、保護者様と情報を共有し、さらに充実した療育支援ができるように努めてまいります。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	公園等と一緒に遊ぶ際には、安全を第一に考え、一緒に遊ぶように心がけております。	今後は公園で遊ぶ機会に他、保護者様と関係機関に確認をとりながら、必要に応じて放課後児童クラブ等との交流も検討いたします。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	開所してからの5ヶ月間は参加しておりません。	今後は、帯広市子供生活支援会議等に複数職員が参加できるように進めてまいります。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	送迎時やネットツールで状況を伝え、必要に応じて電話相談等も行っています。	今後はより一層、保護者様のご要望に応えられるよう更なる連携に努めてまいります。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	送迎時やネットツール、教室の様子や実践で成果のあった方法をお伝えしております。	今後も、保護者様に対して教室内の療育や配慮、少しの工夫をすることで課題が克服されてきた情報を提供し、家庭での子育て、養育に活かしていただければと思っています。今後、家庭支援プログラムのご案内や研修のご案内をさせていただきます。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	見学時や契約を結んでいた際に、契約書、重要事項説明書と共にご説明しています。また、保護者さまが疑問に思ったことには、随時ネットツールや送迎時、お電話などで対応しています。	今後はお便りやホームページ、SNSも活用しながら丁寧な説明を心がけます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	見学時に保護者様から直接支援のニーズと困り感を確認しております。また相談支援事業所からいただいた保護者の意向、本人の意向を参考に作成しております。	今後は、お子さまご本人の意向も尊重し、児童目標の確認の際や日頃の活動の中で聞き取りを行い、保護者と密に共有を行ってまいります。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	保護者様に支援計画書を示しながら丁寧に説明し同意を得ています。	今後は保護者様のニーズを把握し支援計画に反映させながら、より詳しく具体的に説明し、同意が得られるように努めてまいります。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	連絡帳や送迎時に保護者様からのお悩みやご相談に応じられるよう対応しています。	今後は定期的に時間が取れるように保護者様とご相談しながら、電話連絡や家庭訪問、面談等の機会を設定いたします。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	教室主体での父母の会の支援や保護者会等は開催しておりませんが、必要に応じて開催を検討しております。	今後は保護者様のご意見、ご要望を基に、個人情報に配慮しながら保護者様同士の連携ができる場の設定について検討してまいります。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	児発管を相談窓口として設定しています。また、職員から相談窓口担当や管理者への引継ぎを徹底し、相談や申し入れには迅速に対応することを心掛けています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	SNS、ホームページ、連絡帳等で活動概要や行事予定等を発信しています。	今後はお便りや別紙関係文書を作成し、より細かく発信を行なっていく予定です。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	個人情報の取扱いには十分注意し配慮しています。職員への守秘義務の徹底も行ってまいります。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	お子さまや保護者様にあった配慮を行い、「見える化」や掛け声や視覚や聴覚に訴える配慮により、特性にあった伝達手段を工夫して行っています。	今後、さらに有効な意思疎通と情報伝達のために必要な物がございましたら、お子さま、保護者様と相談しながら取り入れてまいります。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	個人情報の観点も踏まえてお子さまと保護者様とご相談しながら、地域に開かれた事業運営に努めております。	行事で併用事業所や、市内事業所間での共同開催行事を引き続き前向きに検討してまいります。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	避難訓練は国で定められた回数通り実施しております。地震・火災を想定した総合避難訓練を行っています。内容は連絡帳、SNS等で発信しております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	ご契約時や利用開始前に調査票にご記入いただき、口頭での確認も行っております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	事前に調査表による確認と、保護者様から対応方法を教えていただいています。医師の指示に基づく対応は必要に応じて行います。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分な中で支援が行われているか。	6	安全計画マニュアル等を策定し、安全管理に基づいて支援をしています。	今後は都度気になること、危険性を感じた時や場所は振り返り共有し、更なる改善を図っていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	契約の際に安全計画に基づく取組内容についてご説明しています。	今後は安全計画に基づいた取り組みも都度発信してまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	6	ヒヤリハット事例があった際、すぐに打ち合わせや振り返りに確認、共有し再発防止に努めております。	今後は事例集を作成し、職員がいつでも確認できる場所に保管し、都度追加案件を報告書に記載していく予定です。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	3	虐待防止については全職員へガイドラインの配布等で周知し適切な対応をしております。今後は教室内での研修、職員が外部の研修に参加できるように機会を確保し、虐待防止の啓発に努めます。都度必要に応じ、職員会議で取り上げてまいります。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	2	職員会議や教室内研修で、どのような場合やむを得ず身体拘束を行うか、組織的に決定いたします。お子さま、保護者様にもしっかりと説明し、了解を得た上で支援計画に記載するよう努めています。